

インテル® デスクトップ ボード D815EEA2(L)U、D815EFV(L)U 370 ピン プロセッサ用ユニバーサル プラットフォーム クイック リファレンス

本書は、デスクトップ ボードの取り付けおよび設定の経験を持つ技術者を対象に作成されています。

はじめに

警告および注意	3
安全性および規制について	3

サポート コンポーネント

プロセッサ	4
メモリ モジュール	4
プロセッサとメモリ モジュールの組み合わせ	5

D815EEA2(L)U デスクトップ ボードのコンポーネント

6

D815EFV(L)U デスクトップ ボードのコンポーネント

8

取り付け手順

1 メモリ モジュールの取り付け	10
2 AGP リテンション メカニズムの取り付け	11
3 I/O シールドの取り付け	13
4 デスクトップ ボードの取り付け	14
5 プロセッサの取り付け	15
6 ファンの接続	15
7 AGP および GPA カードの取り付け	16
8 IDE ドライブの接続	16

BIOS コンフィギュレーション ジャンパの使用

18

BIOS Setup プログラムのデフォルト値

19

CD-ROM の内容

- 製品保証規定
- インテル® Express Installer
- *Intel® Desktop Boards 815EEA2(L)U and D815EFV(L)U Product Guide (英文)*
- ソフトウェア ユティリティおよびドライバ
- ソフトウェア使用許諾契約書
- Readme ファイル

書類番号 : A52561-002J

困ったときには

製品サポート情報は、次のインテル Web サイトで入手できます。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

Web サイトでは、次の情報をご提供しています。

- インテル® デスクトップ ボード D815EEA2(L)U 製品技術仕様 (TPS)
- インテル® デスクトップ ボード D815EFV(L)U 製品技術仕様 (TPS)
- インテル® デスクトップ ボード D815EEA2(L)U 仕様アップデート
- インテル® デスクトップ ボード D815EFV(L)U 仕様アップデート

必要な情報が Web サイトに見つからない場合は、製品購入店にお問い合わせください。インテル Web サイトには、インテル カスタマ サポートの電話番号 (0120-868686) も掲載されています。

本書に掲載されている情報は、インテル® 製品に関するものです。本書は、明示的にも暗示的にも、また禁反言によらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスを許諾するためのものではありません。製品に付属の『Intel's Terms and Conditions of Sales』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責を負うものではなく、また、インテル製品の販売および/または使用に関する明示または黙示の保証（特定目的への適合性、商品性に関する保証、第三者の特許権、著作権、その他、知的所有権を侵害していないことへの責任または保証を含む）にも一切応じないものとします。インテル製品は、医療、救命、延命措置などの目的に使用することを前提としたものではありません。インテル製品の仕様および製品に関する文書は予告なく変更されることがあります。

D815EEA2(L)U、および D815EFV(L)U デスクトップ ボードには、設計上の欠陥、または発行された仕様とは異なる「エラッタ」として知られる誤りがある可能性があります。現在特定されているエラッタは、ご希望により入手することができます。

注文番号の付けられた資料、本書で参照された資料、またはその他のインテルの資料は、インテル Web サイト（<http://www.intel.com>）から入手できます。

† サードパーティのブランドおよび名前は、それぞれのサードパーティが所有します。

Copyright © 2001, Intel Corporation

はじめに

警告および注意



WARNING

ケーブルを接続または取り外し、ボードのコンポーネントの取り付けまたは取り外しを行う際には、作業の前に必ず AC 電源からボードの電源を取り外してください。電源を入れたまま作業を行うと、ケガや、機器が損傷の原因となる可能性があります。デスクトップ ボードの回路によっては、フロント パネルの電源スイッチがオフになっても動作するものがあります。



CAUTION

静電気放電 (ESD) は、デスクトップ ボードのコンポーネント損傷の原因となります。静電気対策の施された作業場で、ボードの取り付けを行ってください。静電気対策の施された作業場がない場合は、帯電防止用リストストラップを着用してください。

安全性および規制について

D815EEA2(L)U、および D815EFV(L)U デスクトップ ボードに適用される規制準拠に関する文書、製品認証マーク、安全性および電磁適合性 (EMC) の規格および規制については、「*Intel® Desktop Boards D815EEA2(L)U and D815EFV(L)U Product Guide (英文)*」を参照してください。

バッテリー交換に関する警告ラベル：ラベルは、シャーシ内部のバッテリー近くの見えやすい場所に貼ってください。ただし、ボード自体には貼らないでください。

使用目的：本製品は、家庭用またはオフィス用情報技術機器 (I.T.E) として、適切なコンピュータ シャーシにインストールされた場合に対して評価されています。その他の使用目的に関しては、別途評価が必要です。

対応コンポーネント

プロセッサ

インテル デスクトップ ボード D815EEA2(L)U、および D815EFV(L)U は、次のプロセッサをサポートしています。

プロセッサの種類	ソケットの種類	プロセッサ周波数 (GHz)	プロセッサ周波数 (MHz)	システムバス周波数 (MHz)	L2 Cache サイズ (KB)
インテル® Pentium® III プロセッサ	FC-PGA2	1.2、1.13	なし	133	256
	FC-PGA (FC-PGA2)	1.0	933、866、800EB、733、667、600EB、および 533EB	133	256
		なし	850、800、750、700、650、600E、550E、および 500E	100	256
インテル® Celeron™ プロセッサ	FC-PGA2	1.2	なし	100	256
	FC-PGA (FC-PGA2)	1.1、1.0	950、900、850、800	100	128
		なし	766、733、700、667、633、600、566、および 533A	66	128

ボードがサポートするプロセッサの最新情報については、次のインテル Web サイトを参照してください。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

メモリ モジュール

ボード上のメモリ ソケット (3 つ) は、以下の条件を満たす SDRAM DIMM をサポートしています。

- 3.3 V、金メッキ 168 ピンモジュール
- PC100 または PC133 SDRAM
- 64 メガビットおよび 128 メガビット SDRAM コンポーネント密度
- 最小システムメモリ：32 MB (64 メガビット SDRAM コンポーネント密度のとき)
- 最大システムメモリ：512 MB (128 メガビット SDRAM コンポーネント密度のとき)
- バッファなし (unbuffered) で、シングルサイドまたはダブルサイド DIMM
- non-ECC DIMM (ECC DIMM の場合でも、non-ECC モードで使用されます)
- Suspend to RAM (STR) をサポート
- Serial Presence Detect (SPD) 対応メモリ
- 標準 non-SPD をサポート (100MHz 時のみ)

プロセッサとメモリ モジュールの組み合わせ

D815EEA2(L)U、および D815EFV(L)U ボードは、次のプロセッサとメモリ モジュールの組み合わせをサポートしています。

プロセッサの種類 (システム バス周波数)	PC100 メモリ モジュール	PC133 メモリ モジュール
インテル Celeron プロセッサ (66 MHz)	100 MHz で動作	100 MHz で動作
インテル Celeron プロセッサ (100 MHz)	100 MHz で動作	100 MHz で動作
インテル Pentium III プロセッサ (100 MHz)	100 MHz で動作	100 MHz で動作
インテル Pentium III プロセッサ (133 MHz)	100 MHz で動作	133 MHz で動作 (下記の NOTE を 参照)

NOTES

133 MHz で動作させるには、4 面のメモリ (ダブルサイド DIMM×2 つ、またはダブルサイド DIMM×1 つとシングルサイド DIMM×2 つ) のみが使用できます。4 面より多く使用すると、メモリは 100 MHz で動作します。

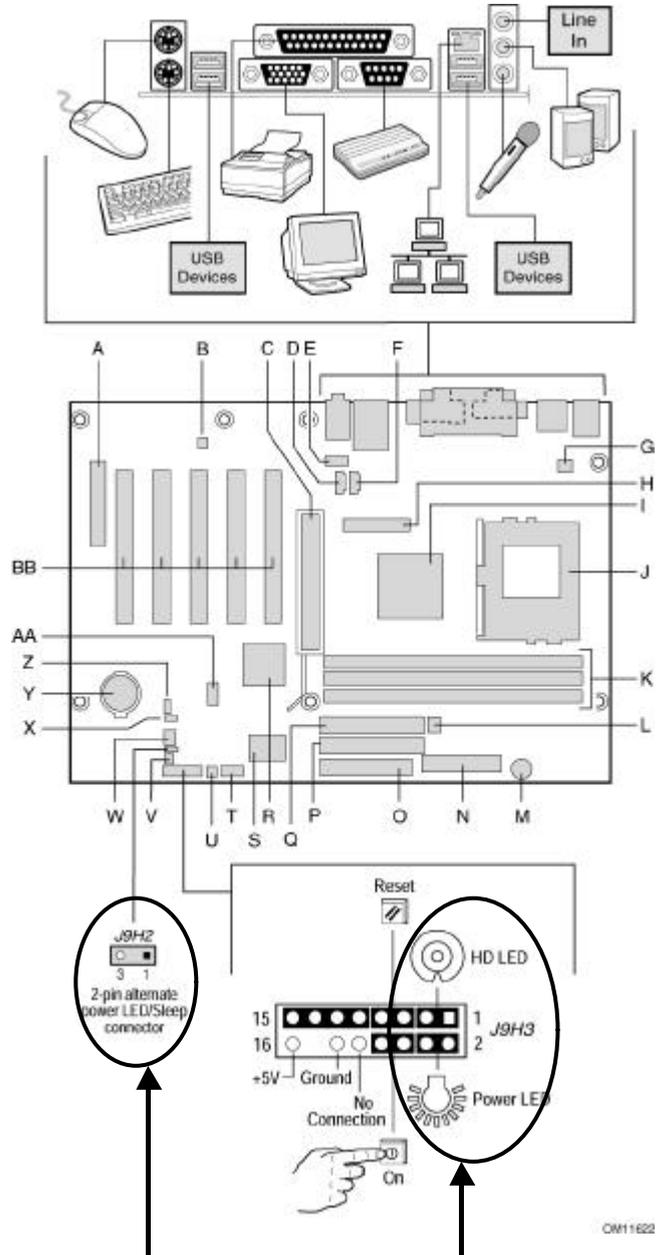
デスクトップ ボードで使用されるすべてのメモリ コンポーネントおよび DIMM は、PC SDRAM Specification (メモリ モジュールのみ)、PC Unbuffered DIMM Specification、および PC Registered DIMM Specification を含む PC SDRAM 仕様に適合する必要があります。これらの仕様は、次のインテル Web サイトでダウンロードまたはご覧いただけます。

<http://www.intel.com/technology/memory/pcsdram/>

これらのメモリ必要条件をサポートするベンダについては、インテル Web サイトにある D815EEA2(L)U、および D815EFV(L)U のリンクを参照してください。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

D815EEA2(L)U デスクトップ ボードの コンポーネント



Power LED、HD LED コネクタには、極性があります。LED が点灯（点滅）しない場合、極性を正しく接続していない可能性があります。また、Power SW、Reset SW には、極性はありません。筐体の種類によっては、Power LED コネクタの形状があわない場合があります。その場合、図中の 2pin ALT. (AUX) Power LED / Sleep コネクタを uses。

D815EEA2(L)U デスクトップ ボードのコンポーネント

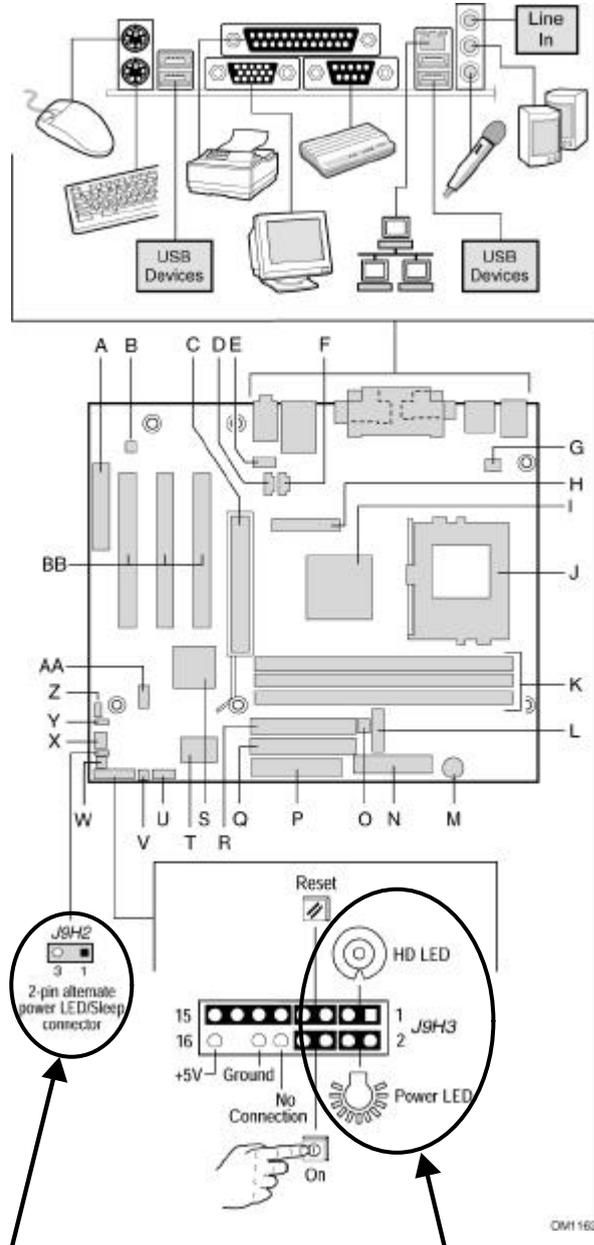
- A. Communication and Networking Riser (CNR) コネクタ (オプション)
- B. ADI AD1885 オーディオ コーデック
- C. AGP ユニバーサル コネクタ
- D. ATAPI 予備入力コネクタ
- E. フロント パネル オーディオ コネクタ (オプション)
- F. ATAPI CD-ROM コネクタ
- G. プロセッサ ファン コネクタ (ファン 1)
- H. Digital video output (DVO) コネクタ
- I. コントローラ ハブ:
 - インテル® 82815E GMCH
- J. プロセッサ ソケット
- K. DIMM ソケット
- L. シャーシ ファン コネクタ (ファン 3)
- M. スピーカ
- N. 電源コネクタ
- O. フロッピ ディスク ドライブ コネクタ
- P. プライマリ IDE コネクタ
- Q. セカンダリ IDE コネクタ
- R. インテル® 82801BA (ICH2)
- S. SMSC LPC47M132 Super I/O コントローラ (オプション : SMSC LPC47M142 Super I/O コントローラ)
- T. シリアル ポート B コネクタ
- U. SCSI ハード ドライブ Activity LED コネクタ
- V. シャーシ挿入コネクタ
- W. シャーシ ファン コネクタ (ファン 2)
- X. BIOS コンフィギュレーション ジャンパ ブロック
- Y. バッテリ
- Z. Wake on LAN†用コネクタ (オプション)
- AA. フロント パネル USB コネクタ (オプション)
- BB. PCI 拡張スロット



CAUTION

ボードおよびフロント パネルに配置されたコネクタの多くは、コンピュータ シャーシ内に設置されたファン、周辺機器などのデバイスに、電力 (DC +5 V、DC +12 V など) を供給しています。これらのコネクタは、過電流防止対策が施されていません。コンピュータシャーシ外部のデバイスに電力を供給するために、これらのコネクタを使用しないでください。外部デバイスの故障によって、コンピュータおよび接続ケーブルに損傷を与えるだけでなく、外部デバイス自体に損傷を与える原因となります。

D815EFV(L)U デスクトップ ボードの コンポーネント



Power LED、HD LED コネクタには、極性があります。LED が点灯（点滅）しない場合、極性を正しく接続していない可能性があります。また、Power SW、Reset SW には、極性はありません。筐体の種類によっては、Power LED コネクタの形状があわない場合があります。その場合、図中の 2pin ALT. (AUX) Power LED / Sleep コネクタを uses。

D815EFV(L)U デスクトップ ボードのコンポーネント

- A. Communication and Networking Riser (CNR) コネクタ (オプション)
- B. ADI AD1885 オーディオ コーデック
- C. AGPユニバーサル コネクタ
- D. ATAPI 予備入力コネクタ
- E. フロント パネル オーディオ コネクタ (オプション)
- F. ATAPI CD-ROM コネクタ
- G. プロセッサ ファン コネクタ (ファン 1)
- H. Digital video output (DVO) コネクタ
- I. コントローラ ハブ :
 - インテル 82815E GMCH
- J. プロセッサ ソケット
- K. DIMM ソケット
- L. バッテリ
- M. スピーカ
- N. 電源コネクタ
- O. シャーシ ファン コネクタ (ファン 3)
- P. フロッピー ディスク ドライブ コネクタ
- Q. プライマリ IDE コネクタ
- R. セカンダリ IDE コネクタ
- S. インテル 82801BA (ICH2)
- T. SMSC LPC47M132 Super I/O コントローラ (オプション :
SMSC LPC47M142 Super I/O コントローラ)
- U. シリアル ポート B コネクタ
- V. SCSI LED コネクタ
- W. シャーシ挿入コネクタ
- X. シャーシ ファン コネクタ (ファン 2)
- Y. BIOS コンフィギュレーション ジャンパ ブロック
- Z. Wake on LAN 用コネクタ (オプション)
- AA. フロント パネル USB コネクタ (オプション)
- BB. PCI 拡張スロット



CAUTION

ボードおよびフロント パネルに配置されたコネクタの多くは、コンピュータ シャーシ内に設置されたファン、周辺機器などのデバイスに、電力 (DC +5 V、DC +12 V など) を供給しています。これらのコネクタは、過電流防止対策が施されていません。コンピュータシャーシ外部のデバイスに電力を供給するために、これらのコネクタを使用しないでください。外部デバイスの故障によって、コンピュータおよび接続ケーブルに損傷を与えるだけでなく、外部デバイス自体に損傷を与える原因となります。

取り付け手順

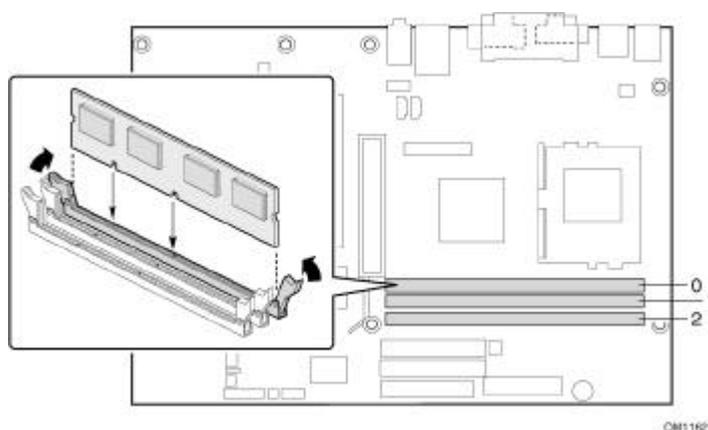
1 メモリ モジュールの取り付け



CAUTION

AGPビデオカードを取り付ける前に、メモリをDIMMソケットに装着してください。(AGPビデオカードがメモリ装着の妨げになる可能性があります。)

D815EEA2(L)U、および D815EFV(L)U ボードでは、DIMM を下図のように装着します。DIMM ソケット (3つ) の位置は、下図 (Bank 0、1、2) の通りです。DIMM を1つ装着する場合は、Bank 0 に装着します。DIMM を2つ装着する場合は、Bank 0 および Bank 1 に装着します。



D815EEA2(L)U ボード図

DIMM を装着するには、以下の手順に従ってください。

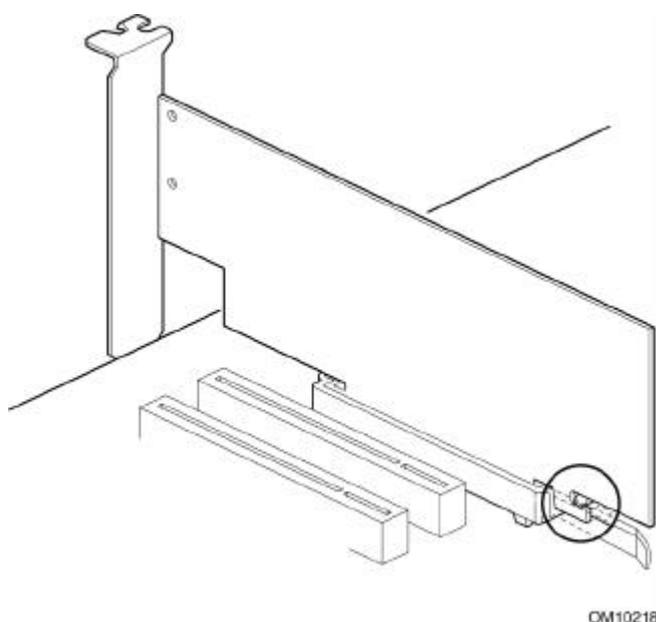
1. 本書3ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. コンピュータに接続されているすべての周辺機器の電源を切ります。コンピュータの電源を切り、プラグを抜きます。
3. コンピュータのカバーを取り、DIMM ソケットの位置を確認します。
4. DIMM の端をつかみ、帯電防止袋から取り出します。
5. ソケットの両端にあるクリップが、上図のように外されていることを確認します。
6. DIMM をソケットの上に載せます。DIMM 下部に付いている2つの小さなノッチを、ソケットのキーに合わせます。
7. ソケットにDIMM を挿入します。
8. DIMM を挿入する際は、ソケットのクリップが所定の位置に戻るまで、DIMM 上部を押します。クリップがしっかりと留まっていることを確認します。
9. コンピュータのカバーを元に戻します。

2 AGP リテンション メカニズムの取り付け



CAUTION

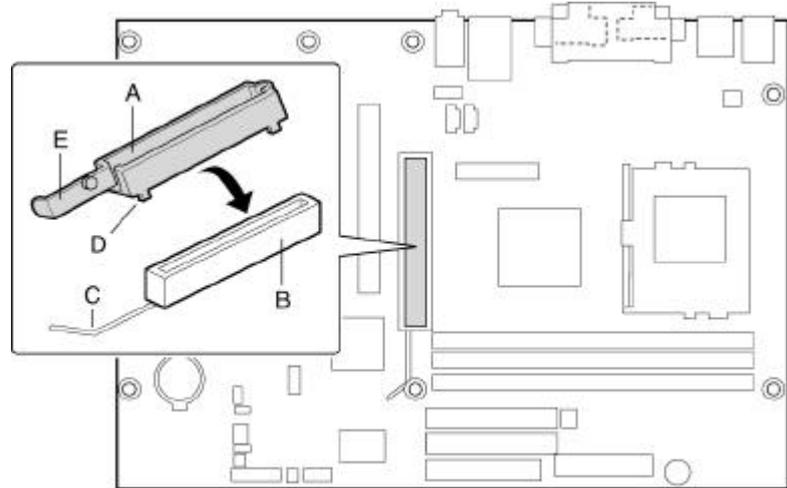
下図に示すリテンション ノッチのある AGP カードを用いるときのみ、AGP リテンション メカニズムを取り付けます。ノッチのないカードにリテンション メカニズムを使用すると、ビデオの動作に損傷を与える可能性があります。リテンション メカニズムの取り外し手順については、インテル Express Installer CD-ROM の「Intel Desktop Boards D815EEA2(L)U and D815EFV(L)U Product Guide (英文)」を参照してください。



リテンション メカニズムは、デスクトップ ボードの AGP コネクタを取り囲むような形になっています。これにより、出荷時の AGP カードの安定性が向上します。

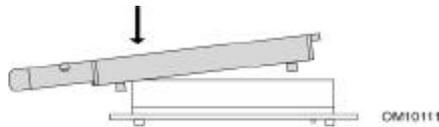
デスクトップ ボードを平らな、安定した場所に置き、リテンション メカニズム (A) を AGP コネクタ (B) に取り付けます。

1. デスクトップ ボード上の AGP コネクタ (J8C1) の位置を確認します (下図)。デスクトップ ボードのシルクスクリーンのマーク (C) は、リテンション メカニズムレバー (E) の正しい位置を示しています。



D815EEA2(L)U ボード図

2. 下図のように、リテンション メカニズムを AGP コネクタの位置に合わせてみます。



3. リテンション メカニズムのレバーを、後方の 2 つのタブ (D) が AGP コネクタの端にかかるまで矢印の方向に押し込みます。



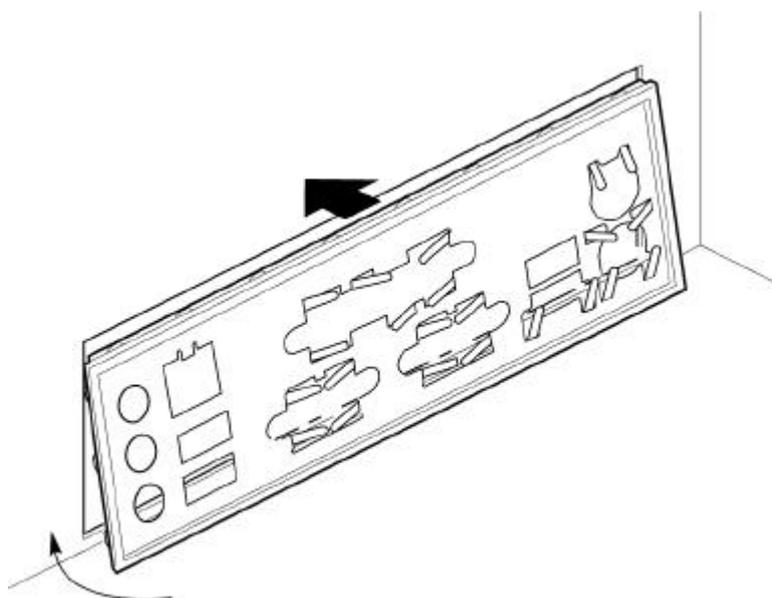
4. リテンション メカニズムのもう一方の端を AGP コネクタの反対側の端に入れ、最終的にはリテンション メカニズムの 4 つのタブがすべて AGP コネクタの下に留まるように、均等にリテンション メカニズムを押し込みます。



3 I/O シールドの取り付け

デスクトップ ボードには、I/O シールドが同梱されています。シールドは、無線周波数電磁波の透過を防ぐとともに、内部のコンポーネントをゴミや異物から防ぎます。また、シャーシ内部の空気の流れを助けます。

シャーシにデスクトップ ボードを取り付ける前に、I/O シールドを設置してください。下図のように、シャーシ内にシールドを設置します。シールドを押して、しっかりと正しい位置に収まるようにします。シールドがうまく収まらない場合は、シャーシの販売業者から適切なサイズのシールドを入手してください。

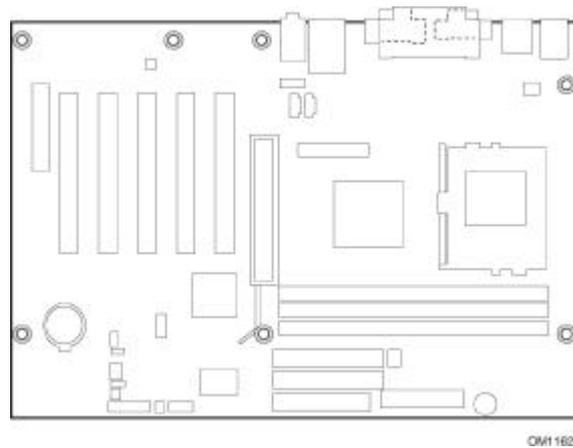


OM11310

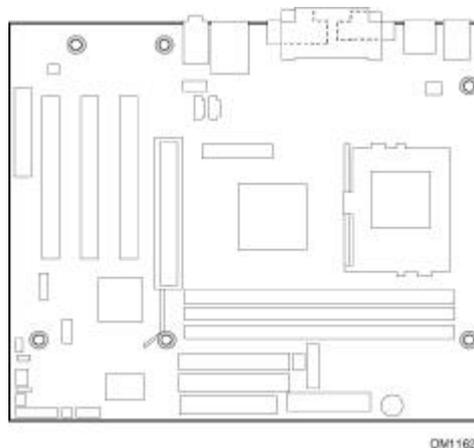
4 デスクトップ ボードの取り付け

デスクトップ ボードの取り付けおよび取り外し手順の詳細については、シャーシのマニュアルを参照してください。

D815EEA2(L)U ボードの場合は7個のねじ、D815EFV(L)U ボードの場合は6個のねじと絶縁ワッシャを用いて、デスクトップ ボードをシャーシにしっかり留め付けます。ねじの取り付け穴の位置は下図の通りです。



D815EEA2(L)U ボードのねじ穴位置



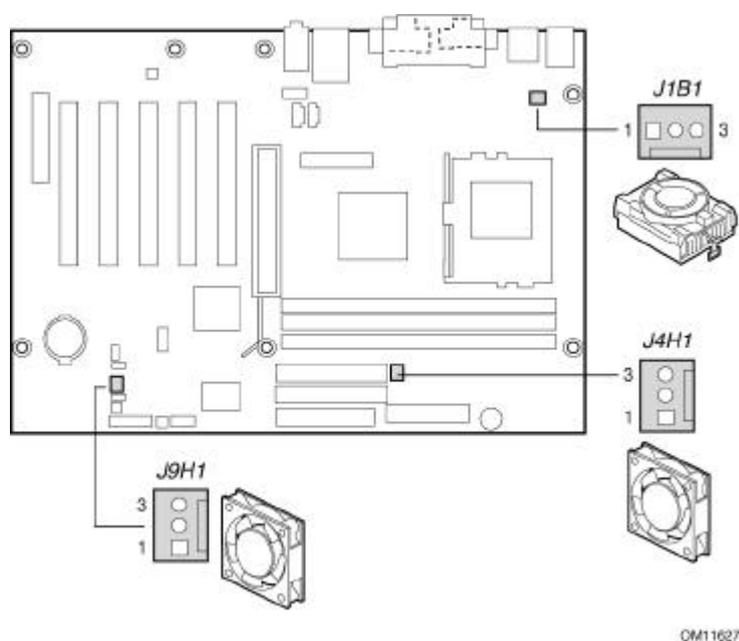
D815EFV(L)U ボードのねじ穴位置

5 プロセッサの取り付け

ボックス プロセッサに付いている説明書をご参照ください。

6 ファンの接続

下図にファンのコネクタの位置を示します。アクティブ ファン ヒートシンクを使用する場合は、プロセッサのファン ケーブルを J1B1 (ファン 1) とラベルの付けられたデスクトップ ボードのコネクタに接続します。シャーシのファン ケーブルは、J9H1 (ファン 2) および J4H1 (ファン 3) とラベルの付けられたコネクタに接続します。



D815EEA2(L)U ボード図

7 AGP および GPA カードの取り付け



CAUTION

メモリのリテンション メカニズムが邪魔にならないように、メモリをアップグレードまたは取り付ける前に、AGP ビデオ カードを取り外してください。

Accelerated Graphics Port (AGP) および Graphics Performance Accelerator (GPA) カードにリテンション ノッチが付いている場合は、以下の手順に従ってください。AGP または GPA カードにリテンション ノッチが付いていない場合は、それぞれのカードを装着する前に、リテンション メカニズムを取り外します (取り外し手順については、インテル Express Installer CD-ROM の「Intel Desktop Boards D815EEA2(L)U and D815EFV(L)U Product Guide (英文)」を参照)。

1. AGP または GPA カードを AGP ユニバーサル コネクタに挿入します。
2. カードが AGP ユニバーサル コネクタにしっかりと収まり、リテンション ノッチがリテンション メカニズムピンの下にはまるまで、カードをコネクタに押し込みます。
3. カードの金属製ブラケットを、シャーシのバック パネルにねじで留め付けます (AGP カードのみ)。

8 IDE ドライブの接続



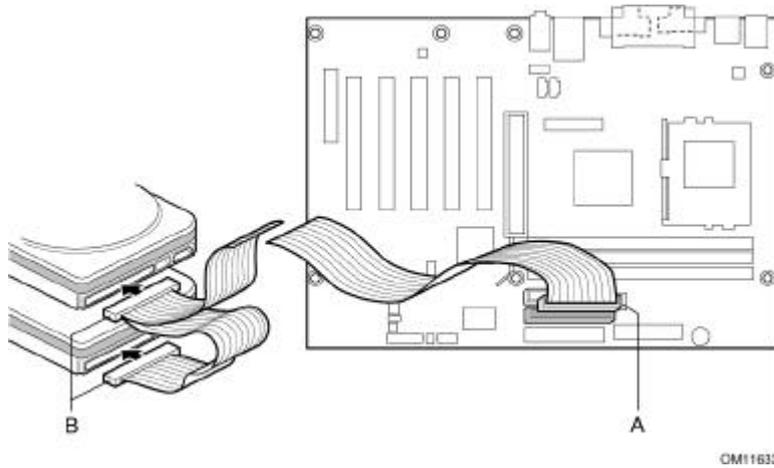
NOTES

IDE ドライブのケーブル選択オプションが有効になっている場合、プライマリ ドライブは IDE ケーブルの黒いコネクタに接続してください。

インテル® ボックス デスクトップ ボードには、2本の IDE ケーブルが付属しています。どちらのケーブルも、2つのドライブをデスクトップ ボードに接続することができます。ケーブルは、Ultra DMA-33 (40 ピン) または ATA-66/100 (40 ピン、80 コンダクタ) 転送プロトコルをサポートしています。また、これより遅い IDE 転送プロトコルを使用するドライブに対する下位互換性もあります。

ケーブルを正しく機能させるためには、次のように接続します。

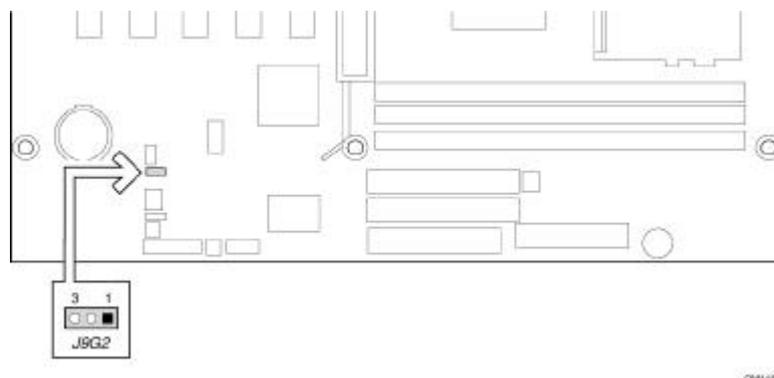
1. シングル コネクタ (A) を、デスクトップ ボードの P1 と記された青いコネクタに接続します。
2. 2つに分かれているコネクタ (B) をドライブに接続します。コネクタは、セカンダリ ドライブ用は灰色、プライマリドライブ用は黒色で、P2、P3 と記されています。



D815EEA2(L)U ボード図

BIOS コンフィギュレーション ジャンパの使用

BIOS コンフィギュレーション ジャンパによって、BIOS Setup プログラムの3つのモードが設定されます。次の表にコンフィギュレーション ジャンパの設定について示します (J9G2)。



D815EEA2(L)U ボード図

下表に、ジャンパの設定と BIOS のモードを示します。

ジャンパ位置	モード	内容
ピン 1-2	Normal (デフォルト)	BIOS は、現在の設定および起動時のパスワードを使用します (通常使用)。
ピン 2-3	Configure	Power-On Self-Test (POST) の実行後、BIOS は Maintenance Menu を表示します (OS は起動しません)。CPU の周波数設定、パスワードクリア等でこのモードを使用します。
ジャンパなし	Recovery	BIOS アップデート失敗時に、BIOS を復元させるモードです。画面には何も表示されませんが、スピーカ音で作業確認します。BIOS のアップグレードまたは復旧手順については、インテル Express Installer CD-ROM の「Intel Desktop Boards D815EEA2(L)U and D815EFV(L)U Product Guide (英文)」を参照してください。

BIOS Setup プログラムのデフォルト値

BIOS Setup の設定値については、インテルWeb サイトにある、次のいずれかの製品技術仕様(TPS)をご覧ください。

<http://support.intel.com/support/motherboards/desktop>

- インテルデスクトップ ボード D815EEA2(L)U 製品技術仕様 (TPS)
- インテルデスクトップ ボード D815EFV(L)U 製品技術仕様 (TPS)



NOTES

オーディオ インターフェイスを無効にするには、[*Advanced*]メニューの [*Peripheral Configuration*] サブメニューで、[*Audio Device*] を [*Disabled*] にします。

LAN インターフェイスを無効にするには、[*Advanced*]メニューの [*Peripheral Configuration*] サブメニューで、[*LAN Device*] を [*Disabled*] にします。